

一次の各問に答えなさい。

問 1 次の各 A・B の——線部のカタカナをそれぞれ漢字に改めなさい。

1 A 旧友とサイカイした

2 A コウカな商品におどろく

1 B 試合がサイカイされた

2 B かぜの予防にコウカがある

3 A 失敗をセめられる

4 A アタタかい料理

3 B 相手のゴールへセめる

4 B 部屋をアタタめる

5 A 今日は早めにネる

5 B 夏休みの計画をネる

問 2 次の例のように、□に入る漢数字を答え、できた三字熟語・四字熟語の読み方をひらがなで答えなさい。

例 □人十色 (答) 十・じゅうにんという

1 □転八倒

2 二束□文

3 千差□別

4 □百長

5 一期□会

問3 次の□に入る動物の名前を指定された文字数のひらがなで答えなさい。

- 1 □
二字 のひたい（場所がせまいこと）
- 2 □
二字 の子（大切にして手元から離さないものこと）
- 3 大山鳴動して□
三字 一匹（さわぎは大きいが実際の結果が小さいこと）
- 4 □
二字 が合う（性格や気が合うこと）
- 5 取らぬ□
三字 の皮算用（不確かなものに期待し、計画をねること）

問4 次の1～5のことわざ、慣用句にはそれぞれ間違いが含まれています。間違いを抜き出し、ひらがなで正しく書き改めなさい。

- 1 赤子のををつかむ（かんとんにできること）
- 2 足を抜く（悪事からかわりをなくすこと）
- 3 知らぬが花（知らなければ、安らかな気持ちでいられること）
- 4 二階からぼたもち（思うようにならないのもどかしいこと）

問5 次の各文の――線部が正しければ○、まちがっていれば正しく書き改めなさい。

- 1 「底力」のかなづかいは「そこぢから」と書く。
- 2 「器」の部首は、「だい」である。
- 3 「費」の総画数は、十三画である。
- 4 「買え（なかつた）」の言いきりの形は「買う」である。
- 5 俳句、「風吹けば来るや隣の鯉のぼり」（高浜虚子）の季節は「夏」である。
- 6 （店員の客に対する発言）「もう一度ご拝見になりますか」

問6 次の例のように漢字に関わる計算をし、できる漢字を答えなさい。なお3・4・5に関しては二字熟語を答えなさい。

例 口 + 一 = 日

- 1 亡 + 一 + 工 + 月 = ? 2 口 + 三 + 一 + 人 = ?
- 3 田 + 各 + 目 + 少 = ? 4 言 + 一 + 日 + 十 + 里 = ?
- 5 木 × 2 + 牛 + 刀 + 示 + 角 = ?

二 次の文章はドイツの詩人・作家・科学者であるゲーテが書いた文章を日本語に書き換えたものに、筆者（谷沢永一）がコメントを記したものです。これを読んで、後の問いに答えなさい。

私たちが先生というのは、その人の導きによって、たえず私たちが芸をみがき、私たちが次第にそれを身につけてくるにつれて、実作によって最も確実に目標に達しようするための原則を、順を追って教えてくれる人のことです。

そういう意味では、私は誰の先生でもありませんでした。しかし、私が一般にドイツ人にとって、とくに若い詩人たちにとって、どういうものになったかを言えというのであれば、私は彼らの「あ」であると言ってよいかと思います。（A）、彼らは私によってつぎのことを知ったのだからです。人間は内面から生きなければならぬ、芸術家は内面から制作に向かわなければならぬ。人間も芸術家も、たとえどのように振る舞おうと、自分の個性を打ち出してゆく他はない。

※ そういう気持ちで元氣いっぱい仕事にかかるならば、まちがいはなく彼は自分の生命の価値を、自然から与えられた高邁な優雅さを表出することになります。（中略）

ともかく、最も重要なことをカンタンに申しませう。若い詩人は、生きて働きつづけているものだけを、たとえそれがどんな形においてであれ、表現するように努めなさい。反対のための反対、悪意、悪口、ただ否定することしかできないものを、ことごとく厳しくしりぞけなければなりません。ただの否定からは、何も生まれてこないのですから。

若い友人たちにくらすすめても足りないと思うのは、自己省察を学ぶことです。詩語をあやつることがいくらかヨウイになっても、それに伴って、内容がますます重さを加えるべきことを忘れてはならないからです。

詩の内容は、自分の生命の内容に他ならないのです。それは、何人も私たちに与えることはできません。またいったんわがものにすれば、他人はこれに（B）はつけても侵すことはできません。虚栄、すなわち、根柢のない自己満足は、今までよりもひどい扱いを受けることになるでしょう。

自分が自由だと称するのは、たいへん僭越なことです。なぜなら、それは同時に、自分を制御する意志をも表明しているからです。誰にそれができるでしょう。友人たちに、若い詩人たちに、私はつぎのように言いたい。君

たちは、今は規範※というものをひとつもっていない。それは、君たちが自分で得なければならぬ。詩ができたなら、必ず自分に尋ねてみたまえ。^cそれが体験を含んでいるか、その体験によつて自分が進歩したか、と。

君たちの恋人が、遠くへ去ったために、^ウフジツのために、あるいは死んだために失われたとして、もし君たちがそのひとのために悲しんでいるだけなら、³君たちに進歩はありません。たとえ君たちが、そのためにどんなに技巧と才能をかたむけても、そんなものには少しも価値はありません。

前進する生命をたのみにし、折あるごとに自分を吟味※することを忘れぬようにしたまえ。その当座※には、自分が生きて働いているかどうかはわかりませんし、あとで考えてみた場合には、自分が生きて働いたかどうかはつきりしてきます。

(ゲーテ『前進する生命を信じて』小栗浩 訳より)

〈筆者のコメント〉

人がなんらかの目標に向かって出発するとき、その拠りどころとなるものは、自分自身の内部にしか見出せない。私はなにものであるか、と自らに問うことから、人生のすべては始まる。

私とはなにか。なんらかの事柄を欲している者である。欲している、とまで気持ちがかまっていなくても、少なくともなにかを期待している者である。期待、というほどには強くなくとも、なにかを、いくぶんたりとも、好ましく思っている者である。そうだ。それこそが自分自身である。⁴好ましいと思う方向へ動き出す、それが生命力なのである。

人間は、自分が嫌いであることを、外から上から命じられても、十分には効果をあげることができない勝手者である。

(C)、自分の内部からこみあげてくるイコウエにしたがうとき、思いもかけぬ成果を生むことになるだろう。なにかをしたい、なにかになりたい、なにかが欲しい、なにかが好ましい、この気持ちのうずきを自分で見届けることから、ひとりひとりの人生がはじまる。

その自分の内部の気持ちのうずきを、それを□と名づけよう。人間とは、生きている者である。人間は、生きている者である。□を持つていることである。自分の□を大切に育てる努力、それが人生である。自分の□にオチユウジツであること、それが素晴らしく生きることである。

【語注】

高邁な優雅さ	．．	けだかくすぐれ、おもむき深く感じられる様子。
自己省察	．．．．	自分のことをふりかえってよく考えること。
虚栄	．．．．	うわべだけをかざって、人によく見られようとする事。
僭越なこと	．．	立場や能力をこえたことを言ったりしたりすること。
制御する	．．．．	コントロールすること。
規範	．．．．	何かをおこなったり判断したりするときに、従うべき、よりどころとなるもの。
吟味する	．．．．	内容をよく調べ、たしかめること。
その当座	．．．．	その時という意味。
好ましい	．．．．	好ましいと同じ。(――線部4中にあるものも同じ)

問1 〓 線部ア↪オのカタカナを漢字に改めなさい。

問2 〓 線部 a↪c 「それ」の指示内容を文章中の言葉を使ってそれぞれ答えなさい。

問3 〓 線部1 「私は誰の先生でもありませんでした」について、その理由を文章中の言葉を使って説明しなさい。

問4 〓 に入る言葉として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 前任者 イ 敵対者 ウ 理解者 エ 解放者

問5 (A)・(C)に入る語句として最も適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア また イ しかし ウ なぜなら

エ たとえば オ ともかく カ ところで

問6 〓 線部2 「反対のための反対」について、具体例を自分で考えて答えなさい。

問7 (B)に入る語句として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア きず イ けち ウ 説明 エ 条件

問8 〓 線部3 「君たちに進歩はありません」について、この場合具体的にどうすれば「進歩」することができるのですか。文章中の言葉を使って説明しなさい。

問9 〓 線部4 「好ましいと思う方向へ動き出す、それが生命力なのである」とあるが、『好ましいと思う方向へ動き出す生命力』と同じ意味を表す言葉を、ゲーテの文章中より五字前後で抜き出しなさい。

問10 最終段落の〓には同じ二字の熟語が入ります。次の中から最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

ア 意欲 イ 目標 ウ 恋心 エ 心情

受験番号	氏名	採点
------	----	----

問1	問2	問3	問4	問5	問6
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6
↓	↓	↓	↓	↓	↓
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6
A	A	A	A	A	A
B	B	B	B	B	B
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6
B	B	B	B	B	B
A	A	A	A	A	A
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10
ア	エ	問2	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10
イ	オ	a		A					
ウ		b		C					
		c							

受験番号	氏名	採点
------	----	----

②⑩	10×	A	再会	B	2	A	高価	B	効果
②⑨	10×	A	責	B	4	A	温	B	暖
②⑧	4	A	寝	B	4	A	温	B	暖
②⑦	1	七	しちてんはっとう	2	三	にそくさんもん			
②⑥	3	万	せんざばんべつ	4	八	やおちよう			
②⑤	5	一	いちごいちえ						
②④	1	ね	こ	2	と	ら	3	ね	ザ
②③	1	つかむ	↓	ひねる	↑	ねじる			
②②	4	花	↓	仏					
②①	6	×	1	2	3	十二	4	目薬	↑
②	1	望	○	2	3	省略	4	計量	5
②	2	望	○	6	3	省略	4	計量	5
②	1	各	○	2	3	省略	4	計量	5

⑮	③×	ア	簡単	イ	容易	ウ	不実
⑮	⑤	エ	意向	忠実	忠実		
⑮	③	芸	自分を制御すること				
⑮	④	4	自分が作った詩	c			
⑮	⑥	6	私は、導きによって、最も確実に目標に達しうるための原則を、順を追って人に教えてはならないから。				
⑮	④	④	エ				
⑮	⑧	④×	オ	イ			
⑮	⑥	6	(例) ある意見が自分の考えとは全く反対のものであったために、(自分の意見を主張するのではなく) とりあえず反対であることだけを主張した。				
⑮	③	7	自分が恋人を失ったことに対して、ただ悲しむだけでなく、自分を振り返って省察する。 (吟味する・何が根拠であったのかをたしかめる)	イ			
⑮	⑤	⑤	前進する	生命			
⑮	⑩	⑩	問9				
⑮	⑩	⑩	問10				